

「平成30年度患者のための薬局ビジョン推進事業」 介護関係職員に対する基礎研修会

資料 11

1. 趣旨

地域包括支援センター等と協力しながら、介護関係職員に医薬品に対する研修会を実施することで、薬剤師の業務や役割について周知させる。

2. 内容

薬の基礎知識や、かかりつけ薬局の重要性などを説明。次表のとおり全6回開催。薬剤師会の在宅委員会の委員5名が講師となり説明した。

	日程	対象	参加人数	協力包括
第1回	9月26日	介護サービス事業者協議会	69人	—
第2回	11月15日	八幡苑	103人	西口
第3回	11月20日	生活クラブ	17人	東口
第4回	11月21日	生活クラブ	20人	東口
第5回	1月21日	四季の里	17人	北部
第6回	1月25日	ニチイケアセンター	25人	東口第二

3. 成果（アンケート結果，全214件）

- ・研修内容に「とても満足した」が38.7%，「満足した」が55.1%
- ・薬剤師の役割で知らなかったことがあったと回答した人は123人
- ・副作用や、錠剤は砕いてはいけないこと等，注意点を伝えて欲しいとの意見があった。

知らなかったこと（抜粋）

かかりつけ薬局のこと，薬剤師が訪問してくれること，24時間相談できること など

病院薬剤師対象 学術研修会（薬薬連携への取り組み）

1. 概要

薬剤師における病院と在宅のシームレスな連携を目指すため、病院薬剤師向けに在宅医療の実際について、講義形式の研修会を実施した。

2. 参加者（全46名）※講師含む

病院薬剤師20名（市内10病院）、薬局薬剤師15名、
柏市訪問看護ステーション連絡会6名、地域医療推進課2名

3. 講義内容

演題Ⅰ	『在宅医療の実際 ～訪問診療医の立場から～』 講師：（一社）柏市医師会 理事 古田 達之 先生
演題Ⅱ	『病院と在宅をつなぐ ～訪問看護師の立場から～』 講師：柏市訪問看護ステーション連絡会副会長 板倉 祐子 先生
演題Ⅲ	『調剤薬局で行なっている在宅医療の実情』 講師：（一社）柏市薬剤師会理事 在宅委員会委員長 武市 真実

4. 成果（病院薬剤師向けアンケートの結果、全14件）

- ・在宅医療の取り組みに薬剤師が「関わるべきだ」との回答が73%
- ・在宅医療の取り組みを「ぜひ進めたい」29%「まあまあ進めたい」43%
- ・忙しく時間がとれない、人手不足で取り組むのが困難、との意見があった。